

令和3年度 日測協「中央シンポジウム」

# 溶接ヒュームの科学と測定の実際

**主催** 公益社団法人 日本作業環境測定協会

開催日時：令和3年9月6日(月) 13:30～15:30

開催形式：ライブ配信 (Zoomウェビナー)

参加費：無料 (定員1,000名)

申込方法：当協会ウェブサイト (<https://www.jawe.or.jp/sokutei/suishin.html>) より

申込期限：9月1日(水) 15:00まで (定員になり次第締切らせていただきます)

13:30～13:40	■開会挨拶 飛鳥 滋 (公益社団法人日本作業環境測定協会 副会長)
13:40～14:10	■化学的アプローチから溶接ヒュームを理解する 永澤 明氏 (埼玉大学名誉教授) ●溶接ヒュームについて規制の対象は、金属をアーク溶接する作業、アークを用いて金属を溶断し、またはガウジングする作業、その他の溶接ヒュームを製造し、または取り扱う作業であり、燃焼ガス、レーザービーム等を熱源とする溶接、溶断、ガウジングは含まれません。本講演では、この違いはなぜか、溶接ヒュームがどのように発生するのか、どのような形状のものなのか、その理解をめざし、マンガンとは化学的にどのような特性を示すものなのか、マンガン周辺も含め関連する基本的な化学を解説します。
14:10～14:20	休憩
14:20～15:10	■今年はじめた溶接ヒューム測定(1) —関係法令— 山室堅治氏 (中央労働災害防止協会) ■今年はじめた溶接ヒューム測定(2) —溶接ヒュームの測定を行って— 廣瀬隆穂氏 (株近畿エコサイエンス) ●溶接ヒュームの濃度測定は、個人サンプリングによります。実際の測定ではまだいろいろと手探りも多いようです。そこでシンポジウムの後半では、金属アーク溶接に関係する方や興味をお持ちの方が聴講されることを想定し、関係法令等の要点の整理と、測定の実例や実際の相談も紹介しつつ、溶接ヒュームの濃度測定の方法および呼吸用保護具の選定のしかた等について解説します。
15:10～15:30	質疑応答

公益社団法人 日本作業環境測定協会

TEL 03-3456-5852 (事業推進部) FAX 03-3456-5854